

製品に関わる行動目標

1. 環境適合型製品の開発目標

2008年度 グリーン商品の売上比率 80%

工場・事業所に関わる行動目標

1. 省エネルギー目標（電力、燃料等）

国内生産拠点 実質生産高二酸化炭素（CO₂）原単位を 1990年度に対し、
2008～2012年度（5年間）平均値で 35%削減

※実質生産高：電気電子4団体の方針に基づき、日銀国内企業物価指数（電気機器）で名目生産高を補正したもの

国内オフィス拠点 二酸化炭素（CO₂）排出総量を 1990年度に対し、
2008～2012年度（5年間）の平均値で9%削減

海外生産拠点 生産高二酸化炭素（CO₂）原単位を 2004年度に対し、
2012年度までに30%削減

海外オフィス拠点 二酸化炭素（CO₂）排出総量を 2004年度に対し、
2012年度までに3%削減

2. CO₂ 以外の温室効果ガス削減目標

2010年までにCO₂以外の温室効果ガス総排出量（CO₂換算）を2000年排出量以下とする

※CO₂以外の温室効果ガス：JEITAの自主行動指針に基づくPFCs、SF₆、NF₃。カシオは既にSF₆を除き全廃済み。

3. 省資源目標（水、紙）

国内生産拠点 水使用量の実質生産高原単位を 2000年度に対し、
2008年度までに10%削減

海外生産拠点 水使用量の生産高原単位を 2004年度に対し、
2012年度までに15%削減

国内拠点 紙使用量の実質生産高原単位を 2003年度に対し、
2008年度までに30%削減

4. 廃棄物削減目標

国内拠点 廃棄物発生量の実質生産高原単位を 2000 年度に対し、
2008 年度までに 40%削減

海外生産拠点 廃棄物発生量の生産高原単位を 2004 年度に対し、
2012 年度までに 30%削減

5.VOC（揮発性有機化合物）削減目標

国内生産拠点 VOC の大気排出量を 2000 年度に対し、2010 年度までに 30%削減

※電機電子 4 団体にて VOC 20 物質を指定。カシオは 8 物質を使用中。

6. 有害物質の使用廃止目標

保管中の PCB 含有機器を 日本環境安全事業（株）のエリア別事業開始に合わせ無害化処理を行う
・甲府カシオ：2008 年度まで

※羽村技術センターで保管中の低濃度コンデンサについては、受入可能となるまで保管を行う。

7.PRTR 法対象化学物質の排出量削減目標

国内生産拠点 対象化学物質の排出量実質生産高原単位を、2003 年度に対し、
2012 年度までに 40%削減

8. グリーン調達の実施目標

2007 年度 グリーン部品回答率（調査対象部品に対する回収率）
国内／海外拠点 100%

9. グリーン購入の実施目標

2009 年度 国内拠点の文具、事務用品、OA 機器類のグリーン購入比率 70%
(件数ベース) ※ CATS e-P システム導入拠点を対象

10. 物流の温暖化対策目標

国内物流による CO₂ 発生量を 国内売上高原単位で 2009 年度に 2000 年度比
40%削減（削減対象範囲は製品・販売物流工程の削減値）

海外物流による CO₂ 発生量を 海外売上高原単位当たり 2009 年度に 2004 年度比 5%削減
(削減対象範囲は製品・販売物流工程の削減値)